

おくちの  
相談室

【問】上顎の親知らずの痛みがあり、かかりつけ医から抜歯を勧められましたが、口が小さく抜歯に不安もあり悩んでいます。

（長崎市、35歳女性）

【答】確かに親知らずの抜歯となると、不安が強いと思います。親知らずだからすべて抜くとは限りません。正常に生えて機能している場合は、一般的に抜歯の必要はありません。しかし、痛みがある上顎の親知らずは正常に生えておらず、歯磨きが難しいため細菌が周りの歯肉に感染し炎症を起こしているか、親知らずがむし歯になって痛みが出ていると思います。ご相談のような状況だと抜歯をお勧めすることが多いです。

基本的に上顎の親知らずの抜歯は下顎に比べ容易に行えます。

上顎の親知らずは下顎より麻酔が効きやすく、処置中に麻酔を追加することがほとんどありません。上顎の骨は下顎と比較すると軟らかいので、通常は処置の時間が短くて済みます。また、上顎の親知らずの抜歯はほとんどが横方

上顎の親知らずの痛み

下顎に比べ抜歯は容易

向から抜歯できるので、口が小さかったり口が開きにくかったりしても、処置は可能な場合がほとんどです。

親知らずがまっすぐに生えてこない場合、下顎では親知らずが横向きに生えていることが多いです。これに対し上顎では親知らずが前方に傾き、手前の歯に引っかかって中途半端に生えているか、後方や頬側に傾いている症例を多く経験します。

下顎の場合は骨が硬いので、抜く歯を分割することも非常に多いですが、上顎は歯の周囲の骨削除が容易なため、歯を分割することは極めて少ないです。また処置の視界が狭いので分割は行わない方が安全です。

高齢者や基礎疾患がある人の場合は、抜くかどうか慎重に判断する必要があります。親知らずが歯肉に埋まっている場合、歯肉を切開したり周りの骨を少し削ったりする必要がありますので、1週間程度顔が腫れたり痛んだりすることがあります。また、上の親知らずの先端は副鼻腔（上顎洞）に近く、抜歯の際十分に考慮する必要があります。

抜歯のタイミングやリスクについては、かかりつけの先生とよく相談してご判断ください。

あだち歯科クリニック院長

（長崎県上野町）

回答者  
あだち まさき  
だち まさき  
立 真



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。